

(4) きゅうり

病害虫	防除法	参考事項																														
うどんこ病	(予防に関する措置) 1 抵抗性品種を使用する。 2 窒素過多を避ける。 3 乾燥条件下で多発しやすいことから、施設栽培では乾燥を避ける。 (判断、防除に関する措置) 1 発病葉を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アグロケア水和剤</td><td></td></tr><tr><td>インプレッションクリア</td><td></td></tr><tr><td>タフパール</td><td></td></tr><tr><td>ボトキラー水和剤</td><td></td></tr><tr><td>クリーンカップ</td><td>銅剤との混合剤</td></tr></tbody></table> 2 下記薬剤のいずれかを発病初期に7～10日おきに病勢に応じて散布(又はくん煙)する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフエットフロアブル</td></tr><tr><td>イオウフロアブル</td></tr><tr><td>カリグリーン</td></tr><tr><td>ケンジャフロアブル</td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr><tr><td>ジーファイン水和剤</td></tr><tr><td>ショウチノスケフロアブル</td></tr><tr><td>ハーモメイト水溶剤</td></tr><tr><td>ハッパ乳剤</td></tr><tr><td>パンチョTF顆粒水和剤</td></tr><tr><td>パンチョTFジェット</td></tr><tr><td>フルピカフロアブル</td></tr><tr><td>プロパティフロアブル</td></tr><tr><td>ベフドー水和剤</td></tr><tr><td>ベルコートフロアブル</td></tr><tr><td>ポリオキシシンAL水溶剤</td></tr><tr><td>モレスタン水和剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	アグロケア水和剤		インプレッションクリア		タフパール		ボトキラー水和剤		クリーンカップ	銅剤との混合剤	薬剤名	アフエットフロアブル	イオウフロアブル	カリグリーン	ケンジャフロアブル	サンクリスタル乳剤	ジーファイン水和剤	ショウチノスケフロアブル	ハーモメイト水溶剤	ハッパ乳剤	パンチョTF顆粒水和剤	パンチョTFジェット	フルピカフロアブル	プロパティフロアブル	ベフドー水和剤	ベルコートフロアブル	ポリオキシシンAL水溶剤	モレスタン水和剤	
薬剤名	備考																															
アグロケア水和剤																																
インプレッションクリア																																
タフパール																																
ボトキラー水和剤																																
クリーンカップ	銅剤との混合剤																															
薬剤名																																
アフエットフロアブル																																
イオウフロアブル																																
カリグリーン																																
ケンジャフロアブル																																
サンクリスタル乳剤																																
ジーファイン水和剤																																
ショウチノスケフロアブル																																
ハーモメイト水溶剤																																
ハッパ乳剤																																
パンチョTF顆粒水和剤																																
パンチョTFジェット																																
フルピカフロアブル																																
プロパティフロアブル																																
ベフドー水和剤																																
ベルコートフロアブル																																
ポリオキシシンAL水溶剤																																
モレスタン水和剤																																
疫病	(耕種的・物理的防除) 1 かぼちゃ台木に接木する。 2 排水を良くするため高畦にする。 3 苗床及び本ぼの土壌を消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 ジマンダイセン水和剤を散布する。	○ 多発生ほ場では4年以上きゅうり、メロン以外の作物を栽培する。																														

病害虫	防除法	参考事項															
褐斑病	(予防に関する措置) 1 抵抗性品種を使用する。 2 風通しを良くするために、密植を避ける。 3 施設内の換気をこまめに行い、通路にわら、もみ殻等を敷くことにより、高温・多湿を避ける。 4 ほ場の排水を良好に保つ。 5 支柱等の農業用資材をこまめに消毒する。 6 窒素過多及び肥料切れを避ける。 (判断、防除に関する措置) 1 発病葉を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 2 発生予察情報を参考に、適期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>クリーンカップ</td><td>銅剤との混合剤</td></tr></tbody></table> 2 発病ごく初期から多湿条件がくるごとに下記薬剤のいずれかを7～10日おきに散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>オーソサイド水和剤80</td></tr><tr><td>ゲッター水和剤</td></tr><tr><td>スミブレンド水和剤</td></tr><tr><td>ジマンダイセン水和剤/ペンコゼブ水和剤</td></tr><tr><td>セイビアーフロアブル20</td></tr><tr><td>ダコニール1000</td></tr><tr><td>パレード20フロアブル</td></tr><tr><td>フルビカフロアブル</td></tr><tr><td>ベフドー水和剤</td></tr><tr><td>ベルクートフロアブル</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	クリーンカップ	銅剤との混合剤	薬剤名	オーソサイド水和剤80	ゲッター水和剤	スミブレンド水和剤	ジマンダイセン水和剤/ペンコゼブ水和剤	セイビアーフロアブル20	ダコニール1000	パレード20フロアブル	フルビカフロアブル	ベフドー水和剤	ベルクートフロアブル	○ 多湿条件で発生する。特に6月や10月の冷涼な天候時に発生が多い。
薬剤名	備考																
クリーンカップ	銅剤との混合剤																
薬剤名																	
オーソサイド水和剤80																	
ゲッター水和剤																	
スミブレンド水和剤																	
ジマンダイセン水和剤/ペンコゼブ水和剤																	
セイビアーフロアブル20																	
ダコニール1000																	
パレード20フロアブル																	
フルビカフロアブル																	
ベフドー水和剤																	
ベルクートフロアブル																	

病害虫	防除法	参考事項																		
菌核病	(耕種的・物理的防除) 1 施設内の保温、換気を図り、湿度をできるだけ下げる。 また、全面をポリマルチし、子のう盤の発生を防ぐ。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 開花4～5日後の雄花の花弁を摘み取り、発病の兆しを見たら下記薬剤のいずれかを7～10日おきに散布(又はくん煙)する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフエットフロアブル</td></tr><tr><td>カンタスドライフロアブル</td></tr><tr><td>ジャストミート顆粒水和剤</td></tr><tr><td>スクレアフロアブル</td></tr><tr><td>スミレックスくん煙顆粒</td></tr><tr><td>スミレックス水和剤</td></tr><tr><td>セイビアフロアブル20</td></tr><tr><td>ダイヤモンド</td></tr><tr><td>トップジンM水和剤</td></tr><tr><td>パレード20フロアブル</td></tr><tr><td>ピクシオDF</td></tr><tr><td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ベルクートフロアブル</td></tr><tr><td>ベンレート水和剤</td></tr><tr><td>ロブラールくん煙剤</td></tr><tr><td>ロブラール水和剤</td></tr><tr><td>ミギワ10フロアブル</td></tr></tbody></table>	薬剤名	アフエットフロアブル	カンタスドライフロアブル	ジャストミート顆粒水和剤	スクレアフロアブル	スミレックスくん煙顆粒	スミレックス水和剤	セイビアフロアブル20	ダイヤモンド	トップジンM水和剤	パレード20フロアブル	ピクシオDF	ファンタジスタ顆粒水和剤	ベルクートフロアブル	ベンレート水和剤	ロブラールくん煙剤	ロブラール水和剤	ミギワ10フロアブル	○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法的項を参照する。
薬剤名																				
アフエットフロアブル																				
カンタスドライフロアブル																				
ジャストミート顆粒水和剤																				
スクレアフロアブル																				
スミレックスくん煙顆粒																				
スミレックス水和剤																				
セイビアフロアブル20																				
ダイヤモンド																				
トップジンM水和剤																				
パレード20フロアブル																				
ピクシオDF																				
ファンタジスタ顆粒水和剤																				
ベルクートフロアブル																				
ベンレート水和剤																				
ロブラールくん煙剤																				
ロブラール水和剤																				
ミギワ10フロアブル																				
黒星病	・古い支柱は消毒(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)して使う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病初期から7～10日おきに芯部にもよくかかるように、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>ジマンダイセン水和剤/ペンコゼブ水和剤</td></tr><tr><td>ダコニール1000</td></tr><tr><td>トップジンM水和剤</td></tr><tr><td>ベジセイバー</td></tr><tr><td>ベルクートフロアブル</td></tr><tr><td>ベンレート水和剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	ジマンダイセン水和剤/ペンコゼブ水和剤	ダコニール1000	トップジンM水和剤	ベジセイバー	ベルクートフロアブル	ベンレート水和剤	○ 冷涼で雨の続く時期に多い。ハウスでは温度の下がりやすい部分に多い。											
薬剤名																				
ジマンダイセン水和剤/ペンコゼブ水和剤																				
ダコニール1000																				
トップジンM水和剤																				
ベジセイバー																				
ベルクートフロアブル																				
ベンレート水和剤																				

病害虫	防除法	参考事項										
炭疽病	(予防に関する措置) 1 ほ場の排水を良好に保つ。 2 支柱等の農業用資材をこまめに消毒する。 3 マルチの敷設により、地表面からの本指定有害植物の跳ね返りを防止する。 4 窒素過多を避ける。 (判断、防除に関する措置) 1 発病部位を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 2 多雨時に発病が多いことから、発生予察情報等を参考に、薬剤散布等を実施する。 3 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病ごく初期から数回、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アミスター20フロアブル</td></tr><tr><td>オーソサイド水和剤80</td></tr><tr><td>ジマンダイセン水和剤/ベンコゼブ水和剤</td></tr><tr><td>スクレアフロアブル</td></tr><tr><td>ダコニール1000</td></tr><tr><td>トップジンM水和剤</td></tr><tr><td>ベフドー水和剤</td></tr><tr><td>ベルコートフロアブル</td></tr><tr><td>ベンレート水和剤</td></tr></table>	薬剤名	アミスター20フロアブル	オーソサイド水和剤80	ジマンダイセン水和剤/ベンコゼブ水和剤	スクレアフロアブル	ダコニール1000	トップジンM水和剤	ベフドー水和剤	ベルコートフロアブル	ベンレート水和剤	○ 露地では風雨の多いときに出やすい。
薬剤名												
アミスター20フロアブル												
オーソサイド水和剤80												
ジマンダイセン水和剤/ベンコゼブ水和剤												
スクレアフロアブル												
ダコニール1000												
トップジンM水和剤												
ベフドー水和剤												
ベルコートフロアブル												
ベンレート水和剤												
つる枯病	・支柱消毒及び土壌消毒をする(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 (耕種的・物理的防除) 1 かん水パイプはマルチ下又は地中に配置するなどして、株元に水や泥がかからないように工夫する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病前から茎葉に下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ジマンダイセン水和剤</td></tr><tr><td>スミレックス水和剤</td></tr><tr><td>トップジンM水和剤</td></tr><tr><td>ベンレート水和剤</td></tr><tr><td>ロブラール水和剤</td></tr><tr><td>ミギワ10フロアブル</td></tr></table> 2 トップジンMペースト原液を地際から 10～20cm の範囲に塗布する。	薬剤名	ジマンダイセン水和剤	スミレックス水和剤	トップジンM水和剤	ベンレート水和剤	ロブラール水和剤	ミギワ10フロアブル				
薬剤名												
ジマンダイセン水和剤												
スミレックス水和剤												
トップジンM水和剤												
ベンレート水和剤												
ロブラール水和剤												
ミギワ10フロアブル												
つる割病	・支柱消毒及び床土消毒をする(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 (耕種的・物理的防除) 1 かぼちゃ台木に接木する。 2 発病ほ場は5年以上うり類を作付けしない。発病ほ場に作付けの場合、土壌消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 3 病株は抜き去る。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 種子にホームイ水和剤を種子重量の0.5～1.0%を粉衣する。 2 ベンレート水和剤をかん注する。	○ 地下水位の高い所に発生しやすいので、そのような所では高畦にする。 ○ 消石灰を多く施す。										

病害虫	防除法	参考事項																																						
苗立枯病	・床土を消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤を使用する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オーソサイド水和剤 80</td><td></td></tr><tr><td>ダコニール 1000</td><td>リゾクトニア菌</td></tr><tr><td>ホーマイ水和剤</td><td></td></tr><tr><td>モンカット水和剤</td><td>リゾクトニア菌</td></tr><tr><td>リゾレックス水和剤</td><td>リゾクトニア菌</td></tr><tr><td>リゾレックス粉剤</td><td>リゾクトニア菌</td></tr><tr><td>タチガレン液剤</td><td>フザリウム菌・ピシウム菌</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	オーソサイド水和剤 80		ダコニール 1000	リゾクトニア菌	ホーマイ水和剤		モンカット水和剤	リゾクトニア菌	リゾレックス水和剤	リゾクトニア菌	リゾレックス粉剤	リゾクトニア菌	タチガレン液剤	フザリウム菌・ピシウム菌																							
薬剤名	備考																																							
オーソサイド水和剤 80																																								
ダコニール 1000	リゾクトニア菌																																							
ホーマイ水和剤																																								
モンカット水和剤	リゾクトニア菌																																							
リゾレックス水和剤	リゾクトニア菌																																							
リゾレックス粉剤	リゾクトニア菌																																							
タチガレン液剤	フザリウム菌・ピシウム菌																																							
灰色かび病	(予防に関する措置) 1 ほ場の排水を良好に保つ。 2 多湿条件で発生しやすいことから、施設内の湿度を低く保つ。 3 風通しを良くするため、密植を避ける。 4 過繁茂にならないよう、適正な施肥管理を行う。 5 施設栽培においては、紫外線除去フィルムや防滴フィルムを活用する。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による発病株の早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 発病葉、発病果等を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 3 着果後に花卉を摘み取る。 4 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>ハーモメイト水溶剤</td><td>JAS法、ちばエコ農産物の認証基準で認められた薬剤</td></tr><tr><td>ポリオキシシンAL水溶剤</td><td>ちばエコ農産物の認証基準で認められた薬剤</td></tr><tr><td>ジャストミート顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>セイビアーフロアブル 20</td><td></td></tr><tr><td>ダイヤモンド</td><td></td></tr><tr><td>ダコニール 1000</td><td></td></tr><tr><td>ピクシオDF</td><td></td></tr><tr><td>フルピカフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ベルクートフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ベルクート水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ポリベリン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>アフェットフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>アミスター 20フロアブル</td><td></td></tr><tr><td>アミスターオブティフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>カンタスドライフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ゲッター水和剤</td><td></td></tr><tr><td>スミブレンド水和剤</td><td></td></tr><tr><td>スミレックス水和剤</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	ハーモメイト水溶剤	JAS法、ちばエコ農産物の認証基準で認められた薬剤	ポリオキシシンAL水溶剤	ちばエコ農産物の認証基準で認められた薬剤	ジャストミート顆粒水和剤		セイビアーフロアブル 20		ダイヤモンド		ダコニール 1000		ピクシオDF		フルピカフロアブル		ベルクートフロアブル		ベルクート水和剤		ポリベリン水和剤		アフェットフロアブル		アミスター 20フロアブル		アミスターオブティフロアブル		カンタスドライフロアブル		ゲッター水和剤		スミブレンド水和剤		スミレックス水和剤		
薬剤名	備考																																							
ハーモメイト水溶剤	JAS法、ちばエコ農産物の認証基準で認められた薬剤																																							
ポリオキシシンAL水溶剤	ちばエコ農産物の認証基準で認められた薬剤																																							
ジャストミート顆粒水和剤																																								
セイビアーフロアブル 20																																								
ダイヤモンド																																								
ダコニール 1000																																								
ピクシオDF																																								
フルピカフロアブル																																								
ベルクートフロアブル																																								
ベルクート水和剤																																								
ポリベリン水和剤																																								
アフェットフロアブル																																								
アミスター 20フロアブル																																								
アミスターオブティフロアブル																																								
カンタスドライフロアブル																																								
ゲッター水和剤																																								
スミブレンド水和剤																																								
スミレックス水和剤																																								

病害虫	防除法	参考事項																			
灰色かび病	パレード20フロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 ロブラール水和剤 ミギワ10フロアブル																				
べと病	(予防に関する措置) 1 抵抗性品種を使用する。 2 健全な苗を使用する。 3 ほ場の排水を良好に保つ。 4 露地栽培では、雨よけを行う。 5 風通しを良くするために、密植を避ける。 6 施設栽培においては、換気を十分に行い、過湿防止に努める。 7 窒素偏用を避ける一方、肥料切れしないようにする。 8 加里肥料を十分施用する。 9 連作を避け、マルチをする。 10 下方の病葉は、摘み取り処分する。 (判断、防除に関する措置) 1 発病部位を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 2 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、適期に薬剤散布等を実施する。 3 薬剤散布を行う場合には、薬液が葉裏にも十分付着するよう、丁寧に散布する。 4 露地栽培では、降雨後に多く発生することから、降雨の前後に薬剤散布を実施する。 5 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 6 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>クリーンカップ</td><td>銅剤との混合剤</td></tr></table> 2 発病前及びごく初期から天候の変化に応じて、下記薬剤のいずれかを7～10日おきに、散布(又はくん煙)する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アリエッティC水和剤</td></tr><tr><td>ジマンダイセン水和剤</td></tr><tr><td>ゾーベック エニベル 顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ダコニール1000</td></tr><tr><td>ピシロックフロアブル</td></tr><tr><td>フェスティバルC水和剤</td></tr><tr><td>フォリオゴールド</td></tr><tr><td>プロボーズ顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ベトファイター顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ベフドー水和剤</td></tr><tr><td>ホライズンドライフロアブル</td></tr><tr><td>ライメイフロアブル</td></tr><tr><td>ランマンフロアブル</td></tr><tr><td>リドミルゴールドMZ</td></tr></table>	薬剤名	備考	クリーンカップ	銅剤との混合剤	薬剤名	アリエッティC水和剤	ジマンダイセン水和剤	ゾーベック エニベル 顆粒水和剤	ダコニール1000	ピシロックフロアブル	フェスティバルC水和剤	フォリオゴールド	プロボーズ顆粒水和剤	ベトファイター顆粒水和剤	ベフドー水和剤	ホライズンドライフロアブル	ライメイフロアブル	ランマンフロアブル	リドミルゴールドMZ	○ 雨の続く時に多く発生する。 ○ アリエッティCは2～3回連続散布すると効果が高い。
薬剤名	備考																				
クリーンカップ	銅剤との混合剤																				
薬剤名																					
アリエッティC水和剤																					
ジマンダイセン水和剤																					
ゾーベック エニベル 顆粒水和剤																					
ダコニール1000																					
ピシロックフロアブル																					
フェスティバルC水和剤																					
フォリオゴールド																					
プロボーズ顆粒水和剤																					
ベトファイター顆粒水和剤																					
ベフドー水和剤																					
ホライズンドライフロアブル																					
ライメイフロアブル																					
ランマンフロアブル																					
リドミルゴールドMZ																					

病害虫	防除法	参考事項								
斑点細菌病	(予防に関する措置) 1 土壌水分の多いほ場で発生が多いことから、土壌水分を適正に維持する。 2 はさみ等の農業用資材をこまめに消毒する。 3 健全な種子を使用する。 4 窒素過多を避ける。 5 マルチの敷設により、地表面からの本指定有害植物の跳ね返りを防止する。 6 発病ほ場では、ほ場をかん水した後、透明のポリマルチを被せることによる太陽熱消毒も活用する。 7 施設内の換気を早く行い、湿度低下に努める。 8 露地ではうり類以外の作物と輪作する。 (判断、防除に関する措置) 1 発病部位を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 2 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、適期に薬剤散布等を実施する。 3 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>クリーンカップ</td><td>銅剤との混合剤</td></tr></tbody></table> 2 オリゼメート粒剤を植穴土壌に混和する。徒長軟弱苗は黄化することがあるので注意する。 3 発病前から下記薬剤のいずれかを7日おきに散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>キノンドーフロアブル</td></tr><tr><td>銅水和剤</td></tr><tr><td>ベフドー水和剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	クリーンカップ	銅剤との混合剤	薬剤名	キノンドーフロアブル	銅水和剤	ベフドー水和剤	○ 銅剤と他剤との混用及び近接散布に注意する。 ○ キノンドーは、薬害が出にくいので、育苗中～定植約10日後散布に適する。 ○ 銅水和剤できゅうり斑点細菌病に使用できる主なものは、次の薬剤である。 Zボルドー、ドイツボルドーA、ベニドー水和剤
薬剤名	備考									
クリーンカップ	銅剤との混合剤									
薬剤名										
キノンドーフロアブル										
銅水和剤										
ベフドー水和剤										
退緑黄化病 (CCYV)、 黄化病 (BPYV)	(耕種的・物理的防除) 1 共通防除の章のコナジラミ類が媒介するウイルス (TYLCV、ToCV、CCYV、BPYV) による病害の防除の項および共通防除の章のコナジラミ類の防除の項を参照するとともに、本項のコナジラミ類の防除に基づき防除を行う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 育苗期及び定植後の施設ではオンシツコナジラミの防除を徹底する。									

病害虫	防除法	参考事項																												
モザイク病(ウイルスによるしおれ症状を含む)	(耕種的・物理的防除) 1 苗床には発芽直後から防虫ネットを使って有翅アブラムシの侵入を防止する。 2 本畑においてはシルバーポリマルチ(例：ムシコン、シルバーポリトウなど)をする。ハウス、温室においても同様にし、天井、側面腰窓などに防虫ネットをはる。 3 つる整理の際に鉢や手によって伝染し、また収穫の際に鉢によっても伝染するので、発病株は作業の最後にまわす等十分注意する。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 以下のアブラムシ防除剤を散布する。効力持続期間の長いものを使うよう努める。	○ 病原ウイルスにはCMV、WMV 2、ZYMV、PRSVがあり、いずれもアブラムシによって媒介される。 ○ ZYMVが単独又は他のウイルスと併発するとしおれ症状を呈することがある(抑制栽培でブルームレス台木を用いるとしおれやすい)。																												
アブラムシ類	(予防に関する措置) 1 無寄生苗を使用する。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 有翅虫の飛来を防止するため、光反射資材によるマルチ若しくはシルバーテープ又は風上方向に防風垣若しくは防風ネットを設置する。 4 施設栽培においては、防虫ネット、紫外線除去フィルム、光反射資材によるマルチ、粘着シート等の活用により、施設内への侵入を防止する。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による被害株の早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 ・モザイク病防除を目的とする場合は本項のモザイク病防除の項も参考にする。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 気門封鎖剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>エコビタ液剤</td></tr><tr><td>オレート液剤</td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td></tr><tr><td>フーモン</td></tr><tr><td>ムシラップ</td></tr></tbody></table> 2 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>ダイアジノン乳剤 40</td><td></td></tr><tr><td>アーデント水和剤</td><td></td></tr><tr><td>テルスター水和剤</td><td></td></tr><tr><td>トレボンMC</td><td></td></tr><tr><td>トレボン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>マブリック水和剤 20</td><td></td></tr><tr><td>ロディー乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤー顆粒水和剤</td><td>施設栽培</td></tr></tbody></table>	薬剤名	エコビタ液剤	オレート液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	フーモン	ムシラップ	薬剤名	備考	ダイアジノン乳剤 40		アーデント水和剤		テルスター水和剤		トレボンMC		トレボン乳剤		マブリック水和剤 20		ロディー乳剤		アクタラ顆粒水溶剤		アドマイヤー顆粒水和剤	施設栽培	
薬剤名																														
エコビタ液剤																														
オレート液剤																														
サフオイル乳剤																														
サンクリスタル乳剤																														
粘着くん液剤																														
フーモン																														
ムシラップ																														
薬剤名	備考																													
ダイアジノン乳剤 40																														
アーデント水和剤																														
テルスター水和剤																														
トレボンMC																														
トレボン乳剤																														
マブリック水和剤 20																														
ロディー乳剤																														
アクタラ顆粒水溶剤																														
アドマイヤー顆粒水和剤	施設栽培																													

病害虫	防除法	参考事項
アブラムシ類	アドマイヤー水和剤 施設栽培 アドマイヤーフロアブル 施設栽培 スタークル/アルバリン顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 バリアード顆粒水和剤 ベストガード水溶剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベリマーク S C トランスフォームフロアブル ウララ D F モベントフロアブル マルハナバチ使用時注意 コルト顆粒水和剤 受粉昆虫使用時注意 チェス顆粒水和剤 ハチハチ乳剤 オルトラン粒剤 ジェイエース粒剤 バイデート L 粒剤 アクタラ粒剤 5 アドマイヤー 1 粒剤 スタークル/アルバリン粒剤 ダントツ粒剤 ベストガード粒剤 モスピラン粒剤 ブリロッソ粒剤オメガ	
ウリノメイガ (ワタヘリクロ ノメイガ)	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 発生初期に下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 アフーム乳剤 カスケード乳剤 コテツフロアブル スピノエース顆粒水和剤 フェニックス顆粒水和剤 ブレバソンフロアブル 5 マッチ乳剤 モスピラン顆粒水溶剤	○ 産卵は下葉に行われる。 ○ 支柱等をゆすると成虫が飛び立つので発見することができる。
コナジラミ類	・ 共通防除の章のコナジラミ類の防除の項を参照する。 (予防に関する措置) 1 連作する場合には、作と作の間に施設内に植物が存在しない期間を設け、コナジラミ類がリレーされることを避ける。 2 育苗期の防除に努め、コナジラミ類が寄生していない苗を定植する。鉢物など、栽培に関係のない植物は、施設内に持ち込まない。 3 寄生範囲が広いため、ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 4 夏期には露地においても発生が多くなるため、秋期より栽培(定植)の始まる作型では、施設内への成虫の侵入防止対策を徹底する。0.4mm 目以下の防虫ネット防虫ネット、紫外線除去フィルム、光反射資材によるマルチ等を活用する。ただし、受粉を目的としてマルハナバチを利用する場合には、紫外線除去フィルムの使用がマルハナバチの活動に影響を与えることに留意する。	

病害虫	防除法	参考事項																																
コナジラミ類	(判断、防除に関する措置) 1 特にタバココナジラミは薬剤抵抗性が発達しやすいので、予防策を基本とした総合防除を行う。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等を行う。 3 成虫密度の低下のため、粘着シート等を設置する。施設で発生予察のために黄色粘着テープを使用する場合は、侵入防止を徹底したうえで、施設の出入口や側窓付近に張り、定期的に交換する。 4 生物農薬（下表）を活用した防除を行う。 5 本圃において化学的防除を行う際は、早期発見、早期防除に重点を置き、薬剤効果に差があるので種の区別を的確に行う。 6 薬剤散布を行うに当たっては、葉裏に寄生している幼虫、蛹にも必ず薬剤がかかるよう丁寧に十分な量を散布する。さらに、薬剤が株全体によく到達するよう下葉の処分を早期に行うなど工夫する。 7 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 8 施設栽培においては、栽培終了後に作物上に寄生したコナジラミの施設外への逃亡・拡散を防止するため、収穫後の残さはキルパーの処理(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照)や施設の密閉処理により、枯死、乾燥させた上で処分する。 農薬登録情報 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 (1) 天敵カブリダニ、昆虫製剤 <table><thead><tr><th>薬剤名（天敵名）</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>エルカード (サバクツヤコバチ成虫)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>エンストリップ (オンシツツヤコバチ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>サバクトップ (サバクツヤコバチ羽化成虫)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>ツヤトップ (オンシツツヤコバチ)</td><td>施設のみ オンシツコナジラミのみ</td></tr><tr><td>ツヤトップ25 (オンシツツヤコバチ)</td><td>施設のみ オンシツコナジラミのみ</td></tr><tr><td>ツヤバラリ (オンシツツヤコバチ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>リモニカ (リモニカスカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr></tbody></table> (2) 天敵微生物製剤 <table><thead><tr><th>薬剤名（天敵名）</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>ゴッツA (ベキロマイセス テヌイペス)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>ブリファード水和剤 (ベキロマイセス・フモソロセウス)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>ボタニガードES (ボーベリア・バシアーナ GHA)</td><td></td></tr><tr><td>ボタニガード水和剤 (ボーベリア・バシアーナ GHA)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>マイコタール (パーティシリウム・レカニ)</td><td>施設のみ</td></tr></tbody></table>	薬剤名（天敵名）	備考	エルカード (サバクツヤコバチ成虫)	施設のみ	エンストリップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ	サバクトップ (サバクツヤコバチ羽化成虫)	施設のみ	スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ	スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ	ツヤトップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ オンシツコナジラミのみ	ツヤトップ25 (オンシツツヤコバチ)	施設のみ オンシツコナジラミのみ	ツヤバラリ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ	リモニカ (リモニカスカブリダニ)	施設のみ	薬剤名（天敵名）	備考	ゴッツA (ベキロマイセス テヌイペス)	施設のみ	ブリファード水和剤 (ベキロマイセス・フモソロセウス)	施設のみ	ボタニガードES (ボーベリア・バシアーナ GHA)		ボタニガード水和剤 (ボーベリア・バシアーナ GHA)	施設のみ	マイコタール (パーティシリウム・レカニ)	施設のみ	○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意点 1 天敵の放飼と薬剤散布（殺菌剤を含む）とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の天敵等への化学農薬の影響の目安の項を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 コナジラミの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名（天敵名）	備考																																	
エルカード (サバクツヤコバチ成虫)	施設のみ																																	
エンストリップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ																																	
サバクトップ (サバクツヤコバチ羽化成虫)	施設のみ																																	
スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ																																	
スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ																																	
ツヤトップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ オンシツコナジラミのみ																																	
ツヤトップ25 (オンシツツヤコバチ)	施設のみ オンシツコナジラミのみ																																	
ツヤバラリ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ																																	
リモニカ (リモニカスカブリダニ)	施設のみ																																	
薬剤名（天敵名）	備考																																	
ゴッツA (ベキロマイセス テヌイペス)	施設のみ																																	
ブリファード水和剤 (ベキロマイセス・フモソロセウス)	施設のみ																																	
ボタニガードES (ボーベリア・バシアーナ GHA)																																		
ボタニガード水和剤 (ボーベリア・バシアーナ GHA)	施設のみ																																	
マイコタール (パーティシリウム・レカニ)	施設のみ																																	

病害虫	防除法	参考事項
コナジラミ類	2 気門封鎖剤	
	薬剤名 備考	
	エコビタ液剤	
	オレート液剤	
	サフオイル乳剤	
	サンクリスタル乳剤	
	粘着くん液剤	
	フーモン	
	ムシラップ	
	3 下記薬剤を施用する。	
	薬剤名 備考	
	アクトラ顆粒水溶剤	
	アドマイヤー顆粒水和剤 施設栽培	
	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	
	ダントツ水溶剤	
	ベストガード水溶剤	
	モスビラン顆粒水溶剤	
	ベネビアOD	
	ベリマークSC	
	アグリメック	
	アニキ乳剤	
	アフーム乳剤	
	コロマイト乳剤	
	ディアナSC	
	アプロードエースフロアブル	
	マッチ乳剤	
	ウララDF	
	コルト顆粒水和剤 受粉昆虫使用時注意	
	チェス顆粒水和剤	
	トランスフォームフロアブル	
	ハチハチ乳剤	
	モベントフロアブル マルハナバチ使用時注意	
	アクトラ粒剤5	
	アドマイヤー1粒剤	
	スタークル/アルバリン粒剤	
	ダントツ粒剤	
	ベストガード粒剤	
	ブリロッソ粒剤オメガ	
タネバエ	(薬剤防除) 農業登録情報 1 カルホス粉剤を土壌表面散布土壌混和处理する。又はダイアジノン粒剤5を全面又は作条土壌混和する。	○ 成虫は有機質肥料などの臭気に誘引される。

病害虫	防除法	参考事項	
トマトハモグリバエ	(耕種的・物理的防除)	○ うり科作物で多く発生する。	
	1 苗を導入する場合、食害痕に注意し、場合寄生された苗を持ち込まない。		
	2 施設の開口部に寒冷紗等のネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。		
	3 ほ場周辺の除草に努める。		
	4 摘葉や収穫残さは土中に埋めるなどの処理をする。		
	5 夏期の施設栽培では収穫終了後、施設を密閉し、太陽熱消毒を行い、蛹を死滅させる。		
	(薬剤防除) 農薬登録情報		
	薬剤名		備考
	プレバソフフロアブル5		
	ベリマークSC		
	アフファーム乳剤		
	コロマイト乳剤		
	スピノエース顆粒水和剤		
	ディアナSC		
カスケード乳剤	トマトハモグリバエで登録		
プレオフロアブル			
アクトラ粒剤5	トマトハモグリバエで登録		
スタークル/アルバリン粒剤			

病害虫	防除法	参考事項																																																												
アザミウマ類	・ 共通防除の章のアザミウマ類の防除の項を参照する。 (予防に関する措置) 1 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネットを展張する。育苗期の被覆も有効である。ほぼ完全に侵入を阻止するには、目合い0.4mm以下の防虫ネットが必要である。 2 施設栽培においては、紫外線除去フィルム、光反射資材によるマルチ等の活用により、施設内への侵入を防止する。 3 ほ場周辺の雑草を除去する。 4 青色の粘着テープにより成虫を誘殺する。 5 苗を介したほ場への持込みを防ぐため、育苗床での防除を徹底する。 6 マルチの敷設により、土中での蛹化を防ぐ。 7 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 3 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 アザミウマ類に対しては、以下のような天敵農薬の登録がある。 <table><thead><tr><th>薬剤名(天敵名)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>スワルスキー</td><td></td></tr><tr><td>(スワルスキーカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スワルスキープラス</td><td></td></tr><tr><td>(スワルスキーカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>ククメリス</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(ククメリスカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>メリトップ</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(ククメリスカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>リモニカ</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(リモニカスカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>オリスターA</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td><td></td></tr><tr><td>トスパック</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td><td></td></tr><tr><td>リクトップ</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td><td></td></tr><tr><td>タイリク</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td><td></td></tr><tr><td>アリガタ</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(アリガタシマアザミウマ)</td><td></td></tr><tr><td>ボタニガードES</td><td></td></tr><tr><td>(ボーベリア・バシアーナ)</td><td></td></tr><tr><td>ボタニガード水和剤</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>(ボーベリア・バシアーナ)</td><td></td></tr></tbody></table> 2 下記薬剤を施用する。 ミナミキイロアザミウマの防除 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td><td>アザミウマ類での登録</td></tr><tr><td>ジェイエース粒剤</td><td>アザミウマ類での登録</td></tr><tr><td>バイデットL粒剤</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤー1粒剤</td><td>アザミウマ類での登録</td></tr></tbody></table>	薬剤名(天敵名)	備考	スワルスキー		(スワルスキーカブリダニ)		スワルスキープラス		(スワルスキーカブリダニ)		ククメリス	施設のみ	(ククメリスカブリダニ)		メリトップ	施設のみ	(ククメリスカブリダニ)		リモニカ	施設のみ	(リモニカスカブリダニ)		オリスターA	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		トスパック	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		リクトップ	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		タイリク	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		アリガタ	施設のみ	(アリガタシマアザミウマ)		ボタニガードES		(ボーベリア・バシアーナ)		ボタニガード水和剤	施設のみ	(ボーベリア・バシアーナ)		薬剤名	備考	オルトラン粒剤	アザミウマ類での登録	ジェイエース粒剤	アザミウマ類での登録	バイデットL粒剤		アドマイヤー1粒剤	アザミウマ類での登録	○ 天敵カブリダニ、昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意点 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」の項を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 アザミウマの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名(天敵名)	備考																																																													
スワルスキー																																																														
(スワルスキーカブリダニ)																																																														
スワルスキープラス																																																														
(スワルスキーカブリダニ)																																																														
ククメリス	施設のみ																																																													
(ククメリスカブリダニ)																																																														
メリトップ	施設のみ																																																													
(ククメリスカブリダニ)																																																														
リモニカ	施設のみ																																																													
(リモニカスカブリダニ)																																																														
オリスターA	施設のみ																																																													
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																														
トスパック	施設のみ																																																													
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																														
リクトップ	施設のみ																																																													
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																														
タイリク	施設のみ																																																													
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																														
アリガタ	施設のみ																																																													
(アリガタシマアザミウマ)																																																														
ボタニガードES																																																														
(ボーベリア・バシアーナ)																																																														
ボタニガード水和剤	施設のみ																																																													
(ボーベリア・バシアーナ)																																																														
薬剤名	備考																																																													
オルトラン粒剤	アザミウマ類での登録																																																													
ジェイエース粒剤	アザミウマ類での登録																																																													
バイデットL粒剤																																																														
アドマイヤー1粒剤	アザミウマ類での登録																																																													

病害虫	防除法	参考事項
アザミウマ類	スタークル/アルバリン粒剤 アザミウマ類での登録	
	ダントツ粒剤	
	ベストガード粒剤 アザミウマ類での登録	
	プリロッソ粒剤オメガ アザミウマ類での登録	
	アグロスリン水和剤	
	アグロスリン乳剤	
	アドマイヤー顆粒水和剤 アザミウマ類での登録。施設栽培	
	アドマイヤーフロアブル アザミウマ類での登録。施設栽培	
	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤 アザミウマ類での登録	
	ダントツ水溶剤	
	ベストガード水溶剤	
	モスピラン顆粒水溶剤 アザミウマ類での登録	
	ベリマークSC かん注。アザミウマ類での登録。	
	アグリメック アザミウマ類での登録	
	アフーム乳剤 アザミウマ類での登録	
	スピノエース顆粒水和剤 アザミウマ類での登録	
	ディアナSC アザミウマ類での登録	
	カスケード乳剤	
	デミリン水和剤	
	コテツフロアブル	
	ブレオフロアブル アザミウマ類での登録	
	ミカンキイロアザミウマの防除	
	薬剤名	備考
	オルトラン粒剤 アザミウマ類での登録	
	ジェイエース粒剤 アザミウマ類での登録	
	プリロッソ粒剤オメガ アザミウマ類での登録	
	アーデント水和剤	
	アクタラ顆粒水溶剤	
	モスピラン顆粒水溶剤 アザミウマ類での登録	
	ベリマークSC かん注。アザミウマ類での登録。	
	アグリメック アザミウマ類での登録	
	アフーム乳剤 アザミウマ類での登録	
	スピノエース顆粒水和剤 アザミウマ類での登録	
	ディアナSC アザミウマ類での登録	
	コテツフロアブル	
	ハチハチ乳剤 アザミウマ類での登録	
ハダニ類	(予防に関する措置)	
	1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。	
	(判断、防除に関する措置)	
	1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。	

病害虫	防除法	参考事項																																																																			
ハダニ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 <table><thead><tr><th>薬剤名（天敵名）</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>スパイデックス (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>チリガブリ (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>チリトップ (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr></tbody></table> 2 気門封鎖剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アカリタッチ乳剤</td></tr><tr><td>エコビタ液剤</td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td></tr><tr><td>ハッパ乳剤</td></tr><tr><td>フーモン</td></tr><tr><td>ムシラップ</td></tr></tbody></table> 3 下記薬剤を施用する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>トモノールS</td><td></td></tr><tr><td>スプレーオイル</td><td></td></tr><tr><td>ハーベストオイル</td><td></td></tr><tr><td>ラビサンスプレー</td><td></td></tr><tr><td>テデオン乳剤</td><td>殺卵効果は高いが、成虫には劣る。</td></tr><tr><td>ニッソラン水和剤</td><td>殺卵効果は高いが、成虫には劣る。</td></tr><tr><td>アーデント水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ロディー乳剤</td><td></td></tr><tr><td>サンマイトフロアブル</td><td>施設内の極端な高温時や幼苗期では新葉に葉害を生じるおそれがあるので、この時期の散布は避ける。</td></tr><tr><td>ダニトロンフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ピラニカEW</td><td></td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td><td>幼苗期に使用すると葉害を生じることがある。</td></tr><tr><td>アグリメック</td><td></td></tr><tr><td>コロマイト水和剤</td><td></td></tr><tr><td>コロマイト乳剤</td><td></td></tr><tr><td>スターマイトフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ダニサラバフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>カネマイトフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ダニオーテフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>バロックフロアブル</td><td>殺卵・殺幼虫効果。</td></tr><tr><td>マイトコーネフロアブル</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名（天敵名）	備考	スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ	チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ	チリトップ (チリカブリダニ)	施設のみ	システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)		スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)		スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)		薬剤名	アカリタッチ乳剤	エコビタ液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	ハッパ乳剤	フーモン	ムシラップ	薬剤名	備考	トモノールS		スプレーオイル		ハーベストオイル		ラビサンスプレー		テデオン乳剤	殺卵効果は高いが、成虫には劣る。	ニッソラン水和剤	殺卵効果は高いが、成虫には劣る。	アーデント水和剤		ロディー乳剤		サンマイトフロアブル	施設内の極端な高温時や幼苗期では新葉に葉害を生じるおそれがあるので、この時期の散布は避ける。	ダニトロンフロアブル		ピラニカEW		コテツフロアブル	幼苗期に使用すると葉害を生じることがある。	アグリメック		コロマイト水和剤		コロマイト乳剤		スターマイトフロアブル		ダニサラバフロアブル		カネマイトフロアブル		ダニオーテフロアブル		バロックフロアブル	殺卵・殺幼虫効果。	マイトコーネフロアブル		○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意点 1 天敵の放飼と薬剤散布（殺菌剤を含む）とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」の項を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 ハダニ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名（天敵名）	備考																																																																				
スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ																																																																				
チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ																																																																				
チリトップ (チリカブリダニ)	施設のみ																																																																				
システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)																																																																					
スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)																																																																					
スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)																																																																					
薬剤名																																																																					
アカリタッチ乳剤																																																																					
エコビタ液剤																																																																					
サフオイル乳剤																																																																					
サンクリスタル乳剤																																																																					
粘着くん液剤																																																																					
ハッパ乳剤																																																																					
フーモン																																																																					
ムシラップ																																																																					
薬剤名	備考																																																																				
トモノールS																																																																					
スプレーオイル																																																																					
ハーベストオイル																																																																					
ラビサンスプレー																																																																					
テデオン乳剤	殺卵効果は高いが、成虫には劣る。																																																																				
ニッソラン水和剤	殺卵効果は高いが、成虫には劣る。																																																																				
アーデント水和剤																																																																					
ロディー乳剤																																																																					
サンマイトフロアブル	施設内の極端な高温時や幼苗期では新葉に葉害を生じるおそれがあるので、この時期の散布は避ける。																																																																				
ダニトロンフロアブル																																																																					
ピラニカEW																																																																					
コテツフロアブル	幼苗期に使用すると葉害を生じることがある。																																																																				
アグリメック																																																																					
コロマイト水和剤																																																																					
コロマイト乳剤																																																																					
スターマイトフロアブル																																																																					
ダニサラバフロアブル																																																																					
カネマイトフロアブル																																																																					
ダニオーテフロアブル																																																																					
バロックフロアブル	殺卵・殺幼虫効果。																																																																				
マイトコーネフロアブル																																																																					

病害虫	防除法	参考事項																														
ネコブセンチュウ	・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 (耕種的・物理的防除) 1 アレチウリ台を使用する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>パストリア水和剤</td></tr></table> 2 下記薬剤を施用する。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>DC油剤/D-D/テロン</td><td></td></tr><tr><td>バイデットL粒剤</td><td>○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。</td></tr><tr><td>ネマキック粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ネマトリンエース粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ネマキック液剤</td><td>生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。 使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。</td></tr><tr><td>石灰窒素50</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>石灰窒素55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>カルメート55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>カルメート60</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素40</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>石灰窒素50防散</td><td>石灰窒素資材</td></tr></table>	薬剤名	パストリア水和剤	薬剤名	備考	DC油剤/D-D/テロン		バイデットL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。	ネマキック粒剤		ネマトリンエース粒剤		ネマキック液剤	生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。 使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。	石灰窒素50	石灰窒素資材	石灰窒素55	石灰窒素資材	粒状石灰窒素55	石灰窒素資材	カルメート55	石灰窒素資材	カルメート60	石灰窒素資材	粒状石灰窒素40	石灰窒素資材	粒状石灰窒素	石灰窒素資材	石灰窒素50防散	石灰窒素資材	○ 生物農薬使用上の留意事項 1 パストリア ペネトランスがほ場に定着し、効果を発揮するまで、2～3年かかる。この間、D-D剤や粒剤を用い体系的な防除に努める。 2 くん蒸剤には、キルパー、テロン、D-D剤を使用できるが、クロルピクリンは土壌中のパストリアペネトランスに影響を与えるため使用できない。 3 防除効果は、サツマイモネコブセンチュウに限定される。
薬剤名																																
パストリア水和剤																																
薬剤名	備考																															
DC油剤/D-D/テロン																																
バイデットL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。																															
ネマキック粒剤																																
ネマトリンエース粒剤																																
ネマキック液剤	生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。 使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。																															
石灰窒素50	石灰窒素資材																															
石灰窒素55	石灰窒素資材																															
粒状石灰窒素55	石灰窒素資材																															
カルメート55	石灰窒素資材																															
カルメート60	石灰窒素資材																															
粒状石灰窒素40	石灰窒素資材																															
粒状石灰窒素	石灰窒素資材																															
石灰窒素50防散	石灰窒素資材																															